

ヨーロッパ最新情報 2022年11月

ヨーロッパではほとんどの国でコロナに関する規制が撤廃されました。今月号からは形を変え、マスク着用義務とPCR情報に加え、ご注意いただきたい情報や最新情報をお届けします。

なお、引き続き現地にて感染の疑いがある場合や陽性と診断された場合、及び濃厚接触者の定義をまとめています。以下のリンクよりご参照ください。[新型コロナウイルス感染症現地対応マニュアル2022年11月版](#)

日本からの入国規制

ヨーロッパで唯一入国規制が残っていたスペインも10月21日付で撤廃されました。これにより、ヨーロッパ主要国では日本からの入国制限はすべて廃止されています。

感染症危険情報レベルの引下げ(2022年10月19日付)

10月19日付で感染症危険情報のレベルの引き下げが行われ、全世界一律レベル1となりました!

2022年11月時点の日本政府による水際対策

全ての国からの帰国者・入国者:

- ・入国時検査不要、入国後の自宅又は宿泊施設での待機不要、公共交通機関不使用等の制限なし
 - ・外国人の入国について、ERFSの申請不要、個人旅行解禁、査証免除措置の適用再開、入国者総数の上限撤廃
- ※引き続きワクチンの接種証明書(3回)又は出国前72時間以内に受けた検査の陰性証明書のいずれかの提出要

ヨーロッパ最新情報 2022年11月時点

国名	トピックス
ドイツ	ノイシュバンシュタイン城の予約は2023年3月31日分まで受付られています。10月16日以降来年3月31日までは、1オペレーターにつき 1日35名まで に制限されています。来年4月以降の条件は未だ発表されていません。発表され次第ご案内いたしますが、来年1月以降の発表及び予約受付開始となる見込みです。
イタリア	2023年1月16日から導入が予定されている ベニス入島税 ですが、未だ支払い方法や金額が発表されていません。ベニスに宿泊しないお客様が対象で、お一人様3~10ユーロほど(時期によって異なる)と言われています。詳細が発表され次第、改めてお知らせいたします。
イタリア	アマルフィ海岸 の通行規制が変更となりました。これまでは全長8~10.36メートル(15~40席)のバスは祝日を除き一方方向で通行可能でした。しかし 現在は祝日に加えて週末(土曜・日曜)も通行不可 となっています。6メートル(8席)以下のミニバスやセダンは年中両方向通行可能です。また10.36メートル(41席以上)のバスは以前より年中走行不可となっています。9名以上のグループは週末のアマルフィ訪問を避けるようお願いいたします。
フランス	モンサンミッシェル の20名以上の入場は予約時間が限定されていますが、2023年1月より予約時間の制限がなくなり開館時間であればいつでも予約できるようになります。
スペイン	2023年はピカソの没後50年 です。これを記念してスペインとフランスの協力の元、米国や欧州諸国で42の特別イベントが予定されています。 マドリッドのティッセン・ボルネミッサ美術館 では一足早く10月11日から「ピカソとシャネル展」特別展が始まりました。この特別展は2023年1月15日まで開催されています。



ヨーロッパ出張レポート&10月の風景

ブルゴーニュ



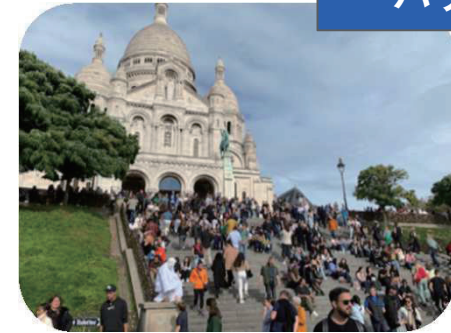
10月上旬にフランスのブルゴーニュを視察してきました!ワイン畑を見下ろす丘と、トリュフたっぷりのパスタです。

10月中旬、ポーランドを視察してきました!
写真は上段が黄葉が見ごろのワジェンキ公園、
下段がクラコフの旧市街です。

ポーランド



パリ



10月下旬にパリへ出張しました。
実際に訪れてみて、街がコロナ前に完全に
戻っており、街中でマスク着用者がいない
ことを実感しました。また、ホテル・飲食店・
観光箇所はどこも大混雑していて、
事前予約なしでの利用はほぼ不可能で
あること、かつ従業員数が激減しており
サービスの遅延を顕著に感じました。

プラハ



紅葉のトンネルをくぐる
プラハ城近くの観光用トラム

コペンハーゲン



信号待ちの衛兵たち

オスロ



今年はキノコが豊作！

ブダペスト



ハロウィン仕様のブダペスト

イギリス



バースのバース寺院

アムステルダム



中央駅とダムラックの夜景

スイス



ツェルマット近郊
テッシュ鉄道の駅にて

ロンドン



みんな大好き！
「ペッパピッグ」の赤バス

マスク着用義務/ PCR検査情報① 2022年11月時点

※各国の規制解除によりPCR検査の需要が減ってきており、今後検査機関の減少が予想されます。それに伴って手配情報も変わる場合があります。ご注意ください。

国名	マスク着用義務	PCR検査に関する注意事項
アイルランド	マスク着用の法的義務は解除されていますが、公共交通機関や医療機関などでは、マスク着用推奨。	手配可否:可、立て替え:可、検査結果:ラボのリンクに入って、ご自身で確認を行って頂きます。
イギリス	マスク着用義務はありません。ただし閉鎖された場所や混雑した場所にいる時、知らない人と会う時には、フェイスカバリングの使用が推奨されています。	手配可否:可、立て替え:可、検査結果:メール受け取り可。お客様のメールアドレスに検査結果が通知されます。
イタリア	交通機関利用時のマスク着用義務は解除されました。ただし、医療施設、介護施設、ホスピス等の従事者、利用者、訪問者には12月31日まで着用が義務付けられています。	手配可否:可、立て替え:可、検査結果:メール受け取り可。主要都市(ミラノ、ヴェニス、フィレンツェ、ローマ)にて契約あり。日曜・祭日の検査は不可(土曜は時間が限られています)。検査結果は通常48時間で入手、追加料金にて当日受け取りが可能な場合もあり。
オーストリア	マスク着用義務はありません。※病院・老人ホームなどの医療施設での着用義務は継続。ウィーン州のみ、公共交通機関・薬局での着用義務の継続	手配可否:可、立て替え:可、検査結果:メール受け取り可。検査結果は2時間から24時間以内に送付。第三者に結果を送信する場合、委任状が必要です。
オランダ	公共交通機関のマスク着用義務撤廃。飛行機内とセキュリティーチェック以降の空港内のみマスクの着用義務。(13歳以上)。違反者には95ユーロの罰金。	手配可否:可、立て替え:可、検査結果:メール受け取り可。弊社が予約代行を行っている検査機関は、結果が早い上に比較的臨機応変な対応が可能です。

※手配可否とは:現地にてPCR検査を手配可能かどうかを表しています。

マスク着用義務/ PCR検査情報② 2022年11月時点

国名	マスク着用義務	PCR検査に関する注意事項
ギリシャ	<p>11月14日まで以下の措置が延長されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道、市内バス、トラム、タクシー、フェリー(デッキを除く)、地下鉄などの交通機関内(駅内等含む)での二重マスク(サージカル及び布製)または高規格マスク(FFP2、N95)の着用義務 遺跡、博物館、飲食店での着用義務はないが、施設側の判断によって、感染対策が講じられる場合がある。 	<p>手配可否:可、立て替え:可、検査結果:メール受け取り可。 12時間で結果が出る場合もありますが、結果判明までは24時間を見ておいてください。英語が通じる病院も多いですが、念のためにアシスタント手配を勧めています。</p>
スイス	<p>マスク着用義務はありません。(州によって、医療施設はまだマスク着用義務あり)</p>	<p>手配可否:可、立て替え:可、検査結果:メール受け取り可。 テストはフライトの前日に受けることをお勧めしています。ジュネーブではグループの場合、ホテルでの実施でリクエストベースとなります。</p>
スウェーデン	<p>マスク着用義務は撤廃されています。</p>	<p>手配可否:可、立て替え:不可、検査結果:メール受け取り可。 市内で日本帰国用フォームの対応可能な所はありますが、需要減少に伴って状況が流動的です。現在は週末営業・当日中に結果判明プランがあります。</p>
スペイン	<p>公共交通機関、医療機関、薬局等ではマスク着用義務があります。その他の場所では、屋外・屋内ともにマスク着用義務はありません。</p>	<p>手配可否:可、立て替え:可、検査結果:検査場受け取り。結果判明まで24時間ほどかかります(2、3時間で結果の出るエクスプレスは、すべての都市で対応可能ではありません)。記載事項の不備も散見されるため、修正の時間を考慮して、余裕をもったスケジュールをしてください。</p>

※手配可否とは:現地にてPCR検査を手配可能かどうかを表しています。

マスク着用義務/ PCR検査情報③ 2022年11月時点

国名	マスク着用義務	PCR検査に関する注意事項
チェコ	マスク着用義務はありませんが、病院や老人ホーム、社会福祉施設では独自に規定するところも出ています。保健省も公共交通機関乗車時の着用を強く推奨しています。	手配可否:可、立て替え:可、検査結果:メール受け取り可。 空港の検査場は日本指定フォーム対応ですが、現地払い・予約不可。検査結果が出るのは採取から3~48時間が一般的で、多くは日曜・祝日休みです。
デンマーク	規制は全て解除となっておりますが、病院やケア施設への訪問時には引き続きマスク着用が求められることがあります。	手配可能:可、立て替え:可、検査結果:検査場受取り。 都市・クリニックによっては申込・手続きが全てデジタル化されており、お客様自身がログインして個人情報を記入、当日のチェックイン、デジタル上での検査結果の確認が必要です。
ドイツ	長距離公共交通機関、医療機関や介護施設など特定の場所でのみ、医療マスク(FFP2マスク)の着用義務が継続中です。違反すると最低50ユーロの反則金が課されます。※今後は各州で異なる規制が定められる可能性があります。	手配可否:可、立て替え:可、検査結果:メール受け取り可。 グループ予約に対応している検査施設は、少ない状況です。
ノルウェー	マスク着用義務はありません。持病がある等の理由でマスクをしている人も稀に見られますが、大多数の市民はマスクなしで生活しています。	手配可否:可、立て替え:可、検査結果:メール受け取り可。 週末対応や短時間で結果の出るプランなど比較的揃っていますが、需要減少に伴って流動的です。
ハンガリー	マスク着用義務は撤廃されています。	手配可否:可、立て替え:可、検査結果:メール受け取り可。 検査結果が出るまでに12~24時間見てください。

※手配可否とは:現地にてPCR検査を手配可能かどうかを表しています。

マスク着用義務/ PCR検査情報④ 2022年11月時点

国名	マスク着用義務	PCR検査に関する注意事項
フィンランド	マスクの着用義務はありませんが、機内においては渡航先・出発国が要求する場合に着用となる場合があります。	手配可否:可、立て替え:可、検査結果:メールにて受取り。日本帰国用フォーマットの記入に関しては、同系列のラボであっても取扱いが異なる為、確認が必要です。また予約時に支払いが必要となります。
フランス	マスク着用が必須な場所はありません。	手配可否:可、立て替え:可、検査結果:パリ市内はラボのリンク上でお客様自身が確認。地方都市は検査場受け取り。日曜・祝日は多くのラボが休みのため、手配不可となります。
ベルギー	病院、医務室(医師のいる場所)及び薬局を除き、マスク着用義務はなくなりましたが、人が多く行き交う場所ではマスク着用が推奨されています。	手配可否:可、立て替え:基本は現地払い(現金)、検査結果:検査場受け取り。日本語対応&グループ受付可能な検査機関は、現地払いのみ。立替払いを希望の場合は、アシスタントを手配して支払を委託する方法になります。
ポルトガル	医療機関・施設、高齢者・要介護者・障害者の支援施設及び当該者の自宅支援における場合を除き、着用義務は撤廃されました。	手配可否:可、立て替え:可、検査結果:メール/用紙による受け取り可。日、祝祭日は殆どの検査機関が閉鎖。唯一受検可能な検査場も午後のみ営業です。

※手配可否とは:現地にてPCR検査を手配可能かどうかを表しています。